

ストレート式 IC ラジオキット

- 東芝の TA7792P を使ったストレート方式の AM ラジオです。
- AM 放送帯の 531KHz～1602KHz を受信できます。

キット内容

種類	部品番号	規格・値	数量	備考
IC	IC1	TA7792P	1	ラジオ用 IC
	IC2	TA7368P	1	オーディオ IC
抵抗	R1, R2	22Ω	2	赤赤黒金
	R3, R5	100Ω	2	茶黒茶金
	R4	1KΩ	1	茶黒赤金
コンデンサ	C1, C3, C5, C9	22uF	4	50V 電解コンデンサ
	C2, C4, C6, C7, C11	0.022uF	5	50V セラミックコンデンサ
	C8	100pF	1	50V セラミックコンデンサ
	C10, C12	1uF	2	50V 電解コンデンサ
	C13, C15	100uF	2	25V 電解コンデンサ
	C14	470uF	1	25V 電解コンデンサ
バーアンテナ	ANT	SL55GT	1	AM ラジオ用バーアンテナ
バリコン	VC	260pF	1	AM ラジオ用バリコン
ボリューム	VR	10KΩ	1	スイッチ付きボリューム
スピーカ	SP		1	口径 50mm スピーカ
電池ボックス	BATT		1	単 3 電池 2 本用
バリコン用つまみ			1	バリコン用つまみ
ボリューム用つまみ			1	ボリューム用つまみ
アンテナホルダ			2	左右ひとつづつ
ホルダ固定具			1	アンテナホルダ固定用
ねじ・ナット			4	M3 ねじ・ナット 4 組
専用基板			1	

工作に必要なもの

ハンダごて	一般的な電子工作用
ハンダ	細めのハンダが使いやすい
電池	単 3 電池を 2 本
配線材	1m 程度

作成アドバイス・注意

ケースに入れない場合は、テーブルへ傷がついたりショートを防ぐため、なるべくスペーサを取り付けて基板を浮かせてください。

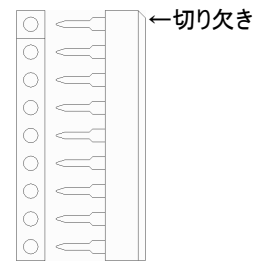
バーアンテナは基板上の部品を全て実装し終わってから取り付けると作業しやすいでしょう。

金属ケースは電波が受信できなくなるため使用できません。また、バーアンテナのリード線は細いので、引っ張って切断しないよう注意してください。

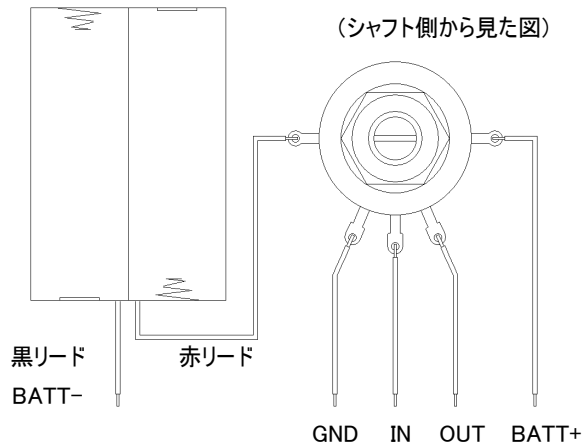
コンデンサは、そのままの足の幅では基板の穴へ入らない場合、曲げ加工をします。
 部品の根元で曲げてはいけません。



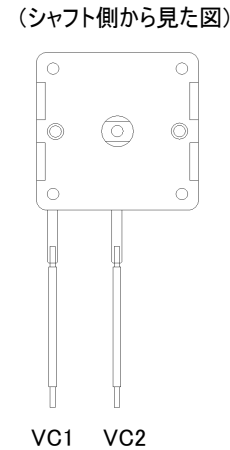
ICの挿入方向



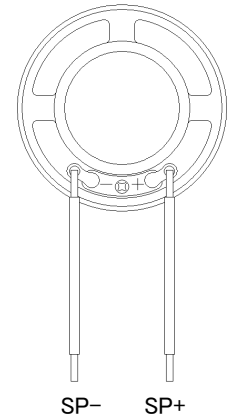
電池ボックス、スイッチ付きボリュームの配線



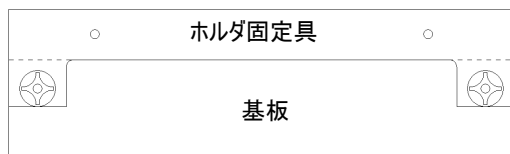
パソコン



スピーカ



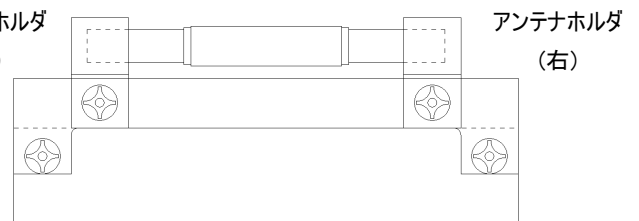
パーアンテナの取り付け



1. ホルダ固定具を基板に取り付ける
 スペーサなどにねじで共締めする

アンテナホルダ

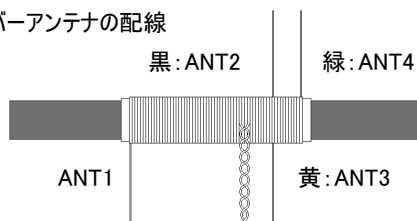
(左)



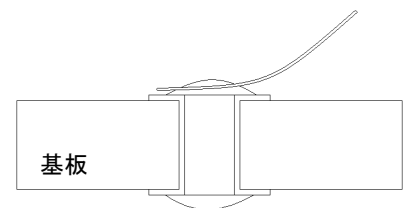
2. アンテナホルダを固定具に取り付ける
 パーアンテナを挟み込み、ねじ止めする

ホルダ固定具は M3 のねじ溝を切っており、強く締め付けすぎるとねじ溝が壊れますのでご注意ください。その際は裏からナットを使って締めて下さい。
 ※アンテナホルダとホルダ固定具は弊社のオリジナル品です。加工の際にできた多少の傷などはご容赦下さい。

パーアンテナの配線



捻ってあるリードは未使用です。
 ショートしないよう先端にテープを巻いておくといでしょう。



アンテナのリードが細くてハンダ付けが難しいときは、ハンダを盛ってからリードの先端を付けるだけで OK です。

使い方

電池をセットし、ボリュームを少し時計回りに回すと「カチッ」とスイッチが ON になり、電源が入ります。
 パソコンをゆっくり回してお好みの放送をお楽しみ下さい。

サポート情報など

サポートや技術関連の情報は、キット共通マニュアルをご覧ください。